

十 あきま菜乃事

あきまおいてきたる粉とこころ
付よ

十一 たあきさ乃事

いのちちをばね粉にして餅に焼
て餅へ春とるも唐いそは
やんに入野るもちまにえさ
いのちちをあらわして餅へ

十二 山うき入目洗事

山うきをあらわして洗也弟ハ男小ハ女也